

特集 青汁

胡麻若葉、「リグ菜」で商標登録査定
オリジナル青汁原料の提案強化へ
わだまんサイエンス

創業明治16年の胡麻町・和田萬商店のグループ企業である、株式会社わだまんサイエンス(京都市中京区)は、「オリジナル青汁原料」として、「リグナンリッチ黒胡麻種子」から栽培された『国産胡麻若葉』を提案する。

今春には、「胡麻若葉」のブランド名が『リグ菜』として商標登録査定を受けたことから、ロゴを作成し、新ブランドとして訴求力を強化、原料・OEM供給により一層注力していく方針だ。

『国産胡麻若葉』は、リグナンを高含有(通常の3倍)するミャンマー産「リグナンリッチ黒ごま種子」で栽培した点が最大の特長。同社では、『リグ菜』として商標登録査定に加え、特許査定(発明名称:アクテオシド含量の高い胡麻若葉乾燥末およびそれより得られるエキス粉末)を武器に、「リグナンリッチ黒胡麻で栽培された胡麻若葉」として提案を強化していく。

供給状況としては、「希少性の高いポリフェノール(アクテオシド)を含有」「ACE阻害活性、抗糖化性、抗酸化性(ORAC値47,000 μ molTE/100g)などのエビデンス」「独自性(特許査定)」「国産」「胡麻の健康イメージ」などが評価され、青汁を中心に、サプリメント、外食・中食での採用が相次いでいる。

ポリフェノールに関しては、日本大学生物資源科学部との共同研究で、通常の胡麻種子で栽培した若葉と比較して、アクテオシドを高含有することを見出している。ACE阻害活性については、胡麻若葉粉末のACE50%阻害率は、5.7mg/mlとなり、同じ方法で測定した黒酢(21mg/ml)の約3.6倍の阻害活性を有することを確認済み。『国産胡麻若葉』がポリフェノールと並ぶ植物栄養素・イリドイドを含有す

ることを確認したほか、ACE阻害活性については、新たに、アクテオシド標準品、胡麻若葉、エキス末で動物試験を実施中だ。

同社では国産胡麻若葉の栽培地域の拡大を見据え、無農薬・無化学肥料栽培の鹿児島産、有機JAS認定の島根県産に加え、宮崎県でのテスト栽培に着手。さらに、「日本で最も美しい村」と評される長野県中川村美里地区での試験栽培をスタートしている。宮崎県の胡麻若葉は、昨年のテスト栽培については、機能性と風味が評価され、「ANAホリデーインリゾート宮崎」のレストラン・劇場でメニューに採用されている。

青汁製品好調、「今後も拡大」

アサヒグループ食品

アサヒグループ食品(東京都渋谷区)では、野菜チャンネルを中心に展開する青汁製品が好調だ。国産の大麦若葉にこだわり、青汁単味ではなく、健康や栄養に配慮した成分をプラスしている。売れ行きは「非常に良い感触」としており、「若い世代も取り込める商品が出てきているので、今後拡大していくと考えている」とコメントしている。

青汁のラインアップは『大麦若葉+酵素』、『青汁と21種の野菜』など。

『大麦若葉+酵素』は国産大麦若葉を100%使用、活性のある酵素を含有する「殺菌発酵エキス末」を加えた。保存料・着色料は無添加。水や牛乳などに混ぜて摂取する。新しいタイプの青汁として展開している。

『青汁と21種の野菜』は、大分県産大麦若葉を使用。栄養バランスが気になる人に向けて、ケールやレタス、小松菜など21種類の野菜を配合した。フリーズドラ

リグナンリッチ
黒胡麻マイクロパウダー

(60メッシュ90%パス セサミン0.8%)

「通常のすりごまより香りが広がる」セサミンリッチな黒胡麻です。

～プロテイン飲料、菓子、スープ、トッピング等へ～

リグナンリッチ黒ごままで栽培された
胡麻若葉末

- 有機認定(島根産)
- 九州産(鹿児島)

- ※特許査定を受けました
- ※急性毒性、変異原性試験、ORAC値測定
- ※黒酢との比較でACE活性阻害作用を確認

- リグナンリッチ黒胡麻ペースト (セサミン規格値0.8%)
- リグナンリッチ黒胡麻油 (セサミン規格値1.2%)
- 発酵胡麻(ほか)
- 胡麻クランチのOEM

●胡麻若葉、リグナン胡麻等の情報はこちらをご覧ください。

<http://gomadensetsu.com>

胡麻の伝説

「胡麻若葉」のブランド名が
商標登録査定を受けました。

(2017年3月末)

リグナンリッチ黒胡麻で
栽培された、胡麻若葉です。

■登録NO:5939137



胡麻を通じて健康を科学する。
～香と機能、個性ある胡麻をお届けします～

株式会社 わだまんサイエンス

本社 〒604-0845 京都市中京区烏丸御池上る二条殿町546
TEL 075-222-7318 / FAX 075-222-0318
<http://www.wadaman-s.com>